

# 西鉄バス碓井・大分坑線の一部区間の廃止申し出への対応状況について

平成30年2月27日  
嘉麻市 地域活性推進課

# 1 碓井・大分坑線のこれまでの流れ

西鉄バス

- ・ 27番と28番の2系統
- ・ 1日30往復60便
- ・ 恒常的な赤字運行
- ・ 赤字幅も年々上昇

路線維持の限界と判断

廃止の申出 (H29. 6. 30)

何もしなければ、**運行便数は0(ゼロ)に!**  
※嘉麻市から桂川駅に行く西鉄バスがなくなる。  
(廃止予定日 平成30年10月1日)

申し入れ等に対する回答

乗務員不足という現状から、現在運行している便全てを残すことは困難であるとし、便数を削減した複数パターンの運行案を2市1町に提案。  
※赤字補填は必要。

嘉麻市

- ・ 県バス対策協議会を通じて存続要望を行ってきた。
- ・ 広報等でバスの利用促進に向けた記事の掲載を行ってきた。

《理由》

「**輸送人員減少**による赤字幅の上昇」 + 「慢性的な**乗務員不足**」

飯塚市・桂川町と2市1町で対応について協議。  
路線を維持することで決定。

飯塚市・桂川町と2市1町で運行継続を申し入れ。  
「赤字補填をしてでも運行の継続をしてほしい。」

その他様々な西鉄への要望活動

複数パターンの提案を受け、2市1町で協議中。

- ・ 運行パターン
- ・ 赤字補填負担割合 等

## 2 乗合バス路線維持確保に向けた今後の対応策

現在、市内を運行する西鉄バス路線（3路線）すべてが赤字による運行が続いている。これらの路線を維持していくためには、今回の廃止申し出の理由である「輸送人員減少」、「乗務員不足」を改善するための対策が必要である。

### (1) 輸送人員減少への対応

#### 高校等通学補助事業（平成29年度から3か年の試行事業）

平成29年度から高校等の通学における通学定期購入に対し3割の補助を実施。  
自転車や家族送迎による通学から公共交通機関による通学への転換を促進し、利用者の増加を図る。

#### (仮称)総合バスステーション設置事業（平成31年4月供用開始予定）

市内の中心に位置する牛隈地区に乗継拠点となるバスステーションを設置し、市バスと民間バスの円滑な乗継を実現。わかりやすく利用しやすい公共交通を構築する主要な拠点として整備し、利用の促進を図る。

### (2) 乗務員不足に関する対応

#### 乗務員募集広報活動支援事業（平成30年5月から実施予定）

市内を運行する乗合バス運行事業者の乗務員確保を支援するため、市の広報媒体を活用しながら乗合バス乗務員の募集に関する情報を市民に広く周知し、乗合バス乗務員の確保に伴う市内路線の維持確保を図る。

#### 大型第2種免許取得補助事業（平成30年5月から実施予定）

乗合バス運行事業者の乗務員として必要不可欠な運転免許取得に係る費用の一部を補助し、免許取得に係る負担の軽減を図ることで、乗合バス乗務員として就職する機会の創出し、市内乗合バス路線の維持確保と雇用促進を図る。